

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第3回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

① 地域活動支援事業の審査に係るプレゼンテーション①

1) 本日の進め方について

2) プレゼンテーション

3 開催日時

令和3年5月29日（土）午後1時から午後5時5分まで

4 開催場所

上越文化会館 大会議室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：阿部一博、板垣勝雄、市川 優、太田一巳（会長）、岡本重孝、白濱昭博、田中裕子（副会長）、谷 健一、藤田晴子、丸山佳子、山田 孝、吉田 実（副会長）、吉田義昭、鷺澤和省、渡邊康子、渡部忠行（欠席4人）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

・挨拶

【藤井係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

- ・会議録の確認：吉田 実副会長に依頼
- 次第3 議題「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業の審査に係るプレゼンテーション①」に入る。最初に事務局より「1) 本日の進め方について」、説明を求める。

【藤井係長】

- ・プレゼンテーションの進め方と再質問のルールを説明
- ・「春-4」「春-6」の 提案取下げについて説明
- ・「春-16」の事業提案内容の変更について説明

【太田会長】

今ほどの説明に質疑を求める。

(発言なし)

補足として、再質問のルールについてである。

事前に「質問・回答一覧」を配布している。再質問したい場合には、例えば「質問No.3について再質問したい」といったように、回答を得ている質問のどれに関連しているのかを分かるように発言してほしい。

プレゼンテーションは昨年につき2回目である。初めてのことでないため、昨年のことも思い出しながら、進めていきたいと思っている。

以上で「1) 本日の進め方について」を終了する。

次に「2) プレゼンテーション」に入る。ここからは事務局が進行し、再質問については自分が進行する。

－ 春-1 提案者入室 －

【藤井係長】

- ・「春-1 春日野いきいきサロン事業」について説明

【春-1 提案者】

- ・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【鷺澤委員】

「質問・回答用紙」の「地域協議会からの質問」の中で、地域協議会委員の名前が出ている質問がいくつかある。質問の中で、地域協議会委員の個人名が出たことは10年務めてきて初めてである。どういう意図があるのか、またどのような狙いがあるのか、そしてその結果がどうなのかということ、事業提案者への質問ではないのだが、協議会委員の中で発言・意見した委員がいれば教えてほしい。

【太田会長】

それについては、提案者からの回答を得る内容ではない。6月1日に第4回地域協議会が開催され、委員での意見交換会がある。前回の内容をまとめた話もあるため、次回の地域協議会での返答としてよいか。

【鷺澤委員】

時間がないため、この場での回答でなくてよい。

【太田会長】

他に質問はあるか。

【岡本委員】

質問No.7に関連した質問である。

「参加する人は毎年同じですか」といった質問内容なのだが、提案書を見ると「構成員数40人」となっている。この40人の中から毎年参加者を募集するのか。毎年、構成員の40人の中から参加するのであれば、ほとんどが同じ参加者ということなのか。

【春-1 提案者】

構成員数の40人は、これまでにサロンに参加した人の人数ということになる。

今回の参加募集については、これまでの参加者はもちろんだが、それ以外の人も含めて考えている。春日野町内会の在住者で、サロンに参加したことがある人や興味のある人にこれから声掛けを行う予定としている。同じ町内会の住民であるため、同じような人ではあるのだが、同じ町内会からの参加が基本となっている。

【渡部委員】

質問No.6に関連した質問である。

最近、春日区地域協議会内で、提案団体に決算書を求めるとの話が出ている。理由としては、しっかりと収支計画どおりに事業を行っているのかを確認するといったことである。質問の回答としては、決算書は出せないということか。

【春-1 提案者】

質問にある「決算書」は、昨年の行事に対する決算書と受け止めた。そのため、今年度についてはこれから事業を実施するため、当然、決算書はないという意味で回答した。

【渡部委員】

去年は決算書を提出したのか。

【春-1 提案者】

去年は上越市に対して決算書を提出した。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

最後に提案者より何かあるか。

【春-1 提案者】

審査結果がどのようになるのかは分からないのだが、採択となった際には、春日野の一部の住民ではあるのだが、楽しいひと時が実現できるかと思っている。

【太田会長】

以上で「春-1」を終了する。

－ 春-1 提案者退室、春-2 提案者入室 －

【藤井係長】

・「春-2 高齢者の健康づくり活動（まちづくり）と地域交流事業」について説明

【春-2 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

質問No.1 から 3 に関連した質問である。

去年は新型コロナウイルスの影響により中止したとの説明があったが、今年もまだ終息しているとは思えない。今年度については、なぜ事業を実施しようと思ったのか教えてほしい。

次に、歌や楽器演奏時はどうしてもマスクがしにくいと思うのだが、その辺はどのように考えているのか教えてほしい。

【春-2 提案者】

昨年度、なぜ事業を中止することになったのかについてである。

市より「収容人数は会場に対して 50 パーセントまで」と言われたのだが、「ふれあいコンサート」を開催すると 500 人ほどの集客がある。だが、春日謙信交流館に 500 人を収容することができないため、6 月に計画していたコンサートを 11 月に延期したのだが、それもだめになった。昨年度については事業が全然実施できなかった。

今年度、事業を実施しようと思った理由としては、学生は公演に向けて 1 年間練習をしている。夕方 6 時から 10 時頃まで毎日のように練習しているわけである。一生懸命に練習をしたのだが、発表の場がほとんどなくなってしまっている。そのため、どうしても今回は開催したいと思い、上越文化会館を会場に選んだ。予算はかかってしまうのだが、このように計画を立てた。

次に歌や演奏時のマスク着用についてである。会場の前から 4 列程度を空けて、座席を作る予定である。上越文化会館の収容人数は 1,504 人であるため、例え 600 人が集まったとしても十分にソーシャルディスタンスを取ることはできると考えている。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

最後に提案者より何かあるか。

【春-2 提案者】

今回はどうしても「ふれあいコンサート」を開催したいと思っている。

【太田会長】

以上で「春-2」を終了する。

－ 春-2 提案者退室、春-3 提案者入室 －

【藤井係長】

・「春-3 御館リバーサイド環境美化事業」について説明

【春-3 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

事業はまだ開始していないのか。

質問No.16に関連した質問であるが、採択結果の連絡が結構遅くなる。いつも楽しみに前を通るのだが、夏の花等をまだ植えないのか気になっている。まだ事業を開始する様子がない。採択結果を待って順応した苗を植栽するのか。また万が一、減額となった場合にはどのように考えているのか。

【春-3 提案者】

そろそろ事業を開始する予定である。

万が一、事業が採択されなくとも実施する予定としているが、採択されることを願っている。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-3」を終了する。

— 春-3 提案者退室、春-7 提案者入室 —

【藤井係長】

当初の予定では、次は「春-4」であったが、「春-4」及び「春-6」の2事業が提案取り下げとなったため、次の「春-7」のプレゼンテーションを開始する。（「春-5」のプレゼンテーションは後段）

- ・「春-7 春日区の交通安全のための交通安全推進活動並びに交差点関連交通安全施設修繕事業」について説明

【春-7 提案者】

- ・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【吉田 義昭委員】

質問No.11に関連した質問である。

「協賛金が年々減少してきている状況」とある。自分の町内の集金の際に、年に1回集めている金額が少なくなっていると感じている。回答に記載されていることは、そういった意味で集める金額が少なくなっているというような意味か。

【春-7 提案者】

最近は住民の意識が変わってきたのか、なかなか各世帯からの会費が集めにくくなっているように思う。会費の集め方については、各町内会独自の方法で行っている。一括して町内会で納める町内、班長が各戸をまわって集める町内もある。また、町内会の総会等で班長が集金にまわってくると強制のようであるためやめてほしいとの意見があり、班長の家に持参する方法を取っている町内会もあるようである。そのため、協賛金が年々減少している状況である。

他の支部では、協賛金が集まらなくなったため予算のかかる自主事業を全く行っていない支部もある。

【吉田 義昭委員】

自分はPRが大事だと思う。交通事故が減少してきている、白線を引いている、といった活動のPRが必要だと思う。アパートの住民はそういったことがなかなか分からないため、同調してもらえないことを痛切に感じている。そういったことを分かってもらうために、もう少しうまくPRをしなければ、協賛金は集まらないように思っている。

【太田会長】

他に質問はあるか。

【鷺澤委員】

まず1点目。説明者から最後に、「地域活動支援事業に24件の提案があったが、交通安全協会以外の他の団体は、基本的には個人的利益に直結する。自分たちは公益財団であるため、公の利益になる」といった発言がそれとなくあった。この言葉を訂正する気持ちはあるか。自分はこのような発言はおかしいと思う。

2点目。「公益財団法人」ということを強調していた。公益財団法人であれば、例えば「質問・回答用紙」の中で、「総会に町内会長連絡協議会会長、市議会議員、公安の所長が来た」といったことではなく、基金を提供した地域住民に対して、どのような決算状況であったのか、予算はこうだということを具体的に知らしめることが、公益財団法人の役割だと思う。

【太田会長】

鷺澤委員、もう少し分かりやすく端的に発言願う。

【鷺澤委員】

公益財団法人であれば、全地域住民が分かるようにするために、どのような対応を取っているのか。

以上の2点の質問について回答願う。

【春-7 提案者】

1点目の質問については、自分が個人的に感じたことであるため、訂正する必要はないと思っている。

2点目は、活動を春日地域の住民に周知してほしいということだと思っただけだが、似たような団体はたくさんあると思う。交通安全協会の支部も市内に約50支部ある。春日地区内の似たような団体であれば、防犯協会もある。こういった団体全てが当団体のように、総会や役員会を行い、町内の回覧チラシを出す、またはそれ以上のことを行っているかという点、違うと思う。

【谷委員】

質問No.6に関連した質問である。

「営利法人ですか。非営利法人ですか。」との問いに対して、回答はどちらなのか。

【太田会長】

提案団体の回答に「一般財団法人」と記載されているため、営利法人ではなく、非営利法人の部類に当たる。

【谷委員】

次に質問No.7に関連した質問である。

繰越金が年々増加してきているということで、先ほど「会費の回収が年々減少してきている」との説明があった。繰越金がこれだけあるのだが、予備費的な金額も増えているのは、どういうことなのか。

【春-7 提案者】

昨年度は繰越金が増えているのだが、増減があるため、どんどん増えるということはない。昨年度については、新型コロナウイルスの影響により事業が実施できなかった部分も多かったため支出が少なかったということである。

【谷委員】

決算の中で別途、定期預金があるのだが、年間の収入以上の金額があるため、どのような事情があるのか確認したい。

【藤井係長】

何の資料等を見て定期預金の話をしているのか。

【谷委員】

昨年度の資料の中で出てきていた。また、補助希望額と繰越金額にかなりの差があるように思う。

【渡部委員】

繰越金額が多いということをお願いなのか。

自分が回答するつもりはないのだが、これは地域協議会内で何度も説明しているように、有事の際に使用するためである。予備費が多くなると意外と問題となってしまうため、予備費が多くなった分を繰り越しているだけである。

【太田会長】

渡部委員が補足することはプレゼンテーションの趣旨と外れてしまうため、発言は控えてほしい。

今ほどの谷委員の質問については、質問No.7に関連するとの意味で、今回の提案書に添付されている資料のどの部分を見て、繰越金の有無について発言しているのか。

【谷委員】

「春-7」の提案書の1ページ目に「直近の会計収支決算」が記載されている。この中で収支差額である繰越金が93万9千円とある。前年度については49万3千円であった。繰越金でもこれだけの差が出てきている。要望事業が少なかったとのことだが、どのような事業が実施できず、このような繰越金となったのか確認したい。

【春-7 提案者】

質問内容がよく分からなかったため、補足説明願う。

【太田会長】

谷委員の質問は、提案書1ページ目に記載されている「直近の会計収支決算」の収入額と支出額の収支差額が93万9千円とあるが、これは前年度である「令和2年4月1日から令和3年3月31日」の繰越金より増えているのはなぜか、ということでしょうか。

【春-7 提案者】

「質問・回答用紙」にも記載されているとおり、補助金事業以外の要望事業が少なかったためである。

【鷺澤委員】

先ほどの提案団体の説明の中で、他団体は会計内容をどのように説明しているのか自分たちは理解していないとの話があった。

例えば、公益団体である保護司会や NPO 団体等は、すべての収入・支出を全市民に対して報告している。

質問No.10 に関連するのだが、地域住民が交通安全協会の決算の内容を見ると、年間収入は 180 万前後であるため「ぜひ、地域の皆さんから 1 世帯 500 円の支援をお願いしたい」程度の内容しか分からない。決算内容や収入源等を合わせた交通安全協会の実情を地域住民に知らせる必要があると思う。それが公益性のある財団法人の役割だと思う。

【渡部委員】

鷺澤委員からの、財務状況について報告がないとの考えは間違いだと思う。

代表理事がそれぞれの地域から出ている。そういった人にしっかりと財務状況を報告し、決算を終えている。それを春日区の全戸にコピーを回す、法人だからやらなければならないとまでの認識はない。

この件はこれでまとめてよいのではないか。時間をかけても仕方がない。

【太田会長】

提案内容やプレゼンテーションの趣旨と話がずれてきているため、「春-7」のプレゼンテーションは一旦、終了とする。

鷺澤委員の意見等については、次回 6 月 1 日の地域協議会で行う、意見交換の際に改めて意見を出してほしいと思う。なお、次回の協議会に出席できないとのことであれば、事前に文章等で事務局に提出してほしいと思う。検討内容としたいと思う。

【春-7 提案者】

誤解があるようだが、「一般財団法人」は上越交通安全協会である。春日支部は「一般財団法人 上越交通安全協会」の「支部」ということである。支部が財団法人になるためには、法務局に届け出し、法令の基準に合う団体が「一般財団法人」あるいは「社団法人」と認められる。

上越交通安全協会春日支部については、法務局に「一般財団法人」の届け出をしていないため、「一般財団法人」とは言えないように思う。一般財団法人となると、毎年、新潟の法務局に決算報告を、司法書士を通じて提出しなければならない。

【太田会長】

質問No.6 に対する上越交通安全協会春日支部からの回答としては、「一般財団法人 上越交通安全協会の春日支部です」と記載されている。今ほど口頭で説明した内容も回

答内に記載があれば、地域協議会委員も理解できたかと思う。

【春-7 提案者】

「質問・回答用紙」記載のとおりである。「一般財団法人上越交通安全協会」の春日支部である。

【太田会長】

以上で「春-7」を終了する。

－ 春-7 提案者退室、春-9 提案者入室 －（「春-8」のプレゼンテーションは次回）

【藤井係長】

・「春-9 高齢者の生きがいづくりと地域交流事業」について説明

【春-9 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

新型コロナウイルス感染症の変異ウイルスが話題となっており、近くでもクラスターが発生したようである。

自分が聞いた話では、婦人会館で行われているコーラス部は、マスクを着用して活動しているようである。事業を実施する際、マスクは着用するのか。

【春-9 提案者】

この事業は、歌が上手になりたいということではない。当団体では、歌う時に楽なタイプの「コーラスマスク」という物を作成している。それを着用し、さらに必ずフェイスシールドも着用して事業を実施する。歌声が云々ではなく、感染しては困る。目からうつった場合には、絶対に新型コロナウイルスに感染するとも言われているため、どんなことがあってもフェイスシールドも含めてすべて着用して歌うようにしている。

【渡部委員】

変異ウイルス等が騒がれている状況の中でも事業を実施したい理由は、先ほどの説明にもあったように、「高齢者の生きがい」といった観点からなのか。

【春-9 提案者】

例えば、1人暮らしのため朝から誰とも話をしない。あるいは、大家族であっても

祖母だけは一緒に出掛けないといったように、今は大家族であっても孤独な高齢者が多い。

【渡部委員】

事業の目的や効果については理解しているつもりである。採択云々ということではないのだが、この補助金は行政の助成金である。そのため、きちんと新型コロナウイルスの感染防止対策ができていないか否かがよく確認できなければならない。市の助成金であるため責任がある。よく知らない人たちからすると、よく確認せずに採択をすると、「そのような事業に市が補助金を交付した」と言われてしまうかもしれない。

個人的には、歌を歌う時にマスクをすることもおかしいように思い、質問をした。

【春-9 提案者】

歌う時にマスクをすることは変なのだが、マスクを着用しなければならない状況であるため着用している。

【太田会長】

自分からも質問である。

質問No.9に関連した質問である。

活動拠点が春日謙信交流館であるため、春日区の地域活動支援事業に提案をしたと聞いているのだが、差し支えなければ、この活動以外に春日謙信交流館で行っている活動を教えてほしい。

【春-9 提案者】

勘違いをしないで欲しいのだが、「コーラス」と「歌声」は別である。

自分は春日謙信交流館で「コーラス」を教えている。それについては、料金をもらい指導している。「歌声」に関しても春日謙信交流館に集って行っている。

【太田会長】

それはクラブ活動として、定期的に行っているということか。

【春-9 提案者】

そうである。

【吉田 義昭委員】

質問No.19に関連した質問である。

「補助額が50パーセント以下であっても事業を実施する」と回答している。令和2年度に事業を実施した際には1人6,500円ほどの料金がかかっているのだが、もし減

額等された場合は個人負担する金額を上げなければならないように思うのだが、どのように考えているのか。

【春-9 提案者】

個人の負担額が上がっても行きたいという参加者を募りたいと思っている。

【吉田 義昭委員】

事業の実施は10月であるため、新型コロナワクチンの接種も終了し、参加を希望する人数が増えるかもしれないのだが、そのような覚悟で考えているということか。

【春-9 提案者】

毎年の恒例行事のように思っている参加者も多いため、個人負担額はなるべく1万円以下となるようにしたいと考えている。だが、休憩場所に考えている施設も新型コロナウイルスの影響により大打撃があるため値上がりしている。苦しいところではあるのだが、高齢者のいきいき、わくわくのために頑張りたいと思う。

【太田会長】

他に質問はあるか。

以上で「春-9」を終了する。

— 春-9 提案者退室、春-10 提案者入室 —

【藤井係長】

- ・「春-10 挨拶運動啓発事業」について説明

【春-10 提案者】

- ・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【谷委員】

質問No.4に関連した質問である。

全44枚の看板を更新するとの提案であり、「現状を確認されましたか」との質問に対して「確認している」とある。自分がうち13枚の設置場所を見てきた中では、1枚だけ擦れていたが、他はきれいであった。過去にも更新しているのだが、綺麗な看板も含めて全て更新するということか。

【春-10 提案者】

今ほどの谷委員発言にもあったように、全44枚の破損がひどいということではない。

昨年の例では、5枚程度、また、もともと設置されていた看板がなくなっている場所もあり、計5枚から10枚程度を更新してはどうかとの案が出た。先ほどの説明にもあったように、ちょうどよい機会であるため、今回は新しいものを作成し、きれいなものについては捨てる必要はないため、併設しておき、順次入れ替え・更新していきたいと考えている。今回は44枚を作成し、プラス、比較的きれいなものは残すという考えでいる。

デザインについては、前は全て大人が考えて作ったため、今回は子どもたちからも関わってもらいたいと思っている。そのため、全て更新をして付け足していくことがよいと思っている。

【谷委員】

かなりきれいな看板もあるため、もったいないように思う。

【太田会長】

今ほどの回答の中で、きれいな看板については併設をして、景観が悪くなってきた際に処分していくとの説明があった。

【渡部委員】

質問No.5に関連した内容である。

意見でも質問でもないのだが、今年度の地域活動支援事業は「のぼり旗」の購入を希望している提案が多い。

質問No.5に「1年中掲出しているところもある」とあるのだが、以前の新潟日報に「安全にのぼり旗を設置してください」という記事があった。それは「強風で飛んでいくことがあり、地域住民に迷惑がかかっている」ためである。自分も交通安全関係の役員を務めているため、身に染みているのだが、そういったことを十分に注意していただきたい。看板を見ると同時に、のぼり旗を1年中設置している個所については、設置状況をよく確認してほしいと思っている。

質問ではなく申し訳ない。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-10」を終了する。

— 春-10 提案者退室、春-11 提案者入室 —

【藤井係長】

- ・「春-11 ジュニアバレーボールの普及及び青少年健全育成事業」について説明

【春-11 提案者】

- ・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【鷺澤委員】

質問No.4に関連した質問である。

質問No.4の回答に各小学校の参加者数が記載されている。春日地域では春日小学校のメンバーが16人であり、他の地域からの参加は計18人である。経費がかかるということは人数を見れば分かるのだが、春日区の地域活動支援事業への提案だけではなく、例えば、有田区の地域活動支援事業への提案はしているのか。

【春-11 提案者】

有田区の地域活動支援事業への提案は、今のところ行ってはいない。今後はそういったことも考え、他区への提案ができるのであればしていきたいと思った。来年度以降もこの補助金があるのであれば、検討したいと思う。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-11」を終了する。

ー 春-11 提案者退室、春-12 提案者入室 ー

【藤井係長】

- ・「春-12 中学生バレーボールの普及及び青少年健全育成事業」について説明

【春-12 提案者】

- ・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【藤田委員】

自分は知識がないため分からないのだが、「リベロ制度」とは何か。

【春-12 提案者】

基本は6人制であるため、コート内に6人の選手が入る。身長が低くスパイクが打てないような子たちはだいたい、守備専門でコートに入っている。そのポジションを「リベロ」という。リベロ制度はそういったリベロ選手への救済制度のような感じである。

現在、全日本選手権等でもユニフォームの違う選手がコートを出たり入ったりしている。そういった子どもたちにもプレーの機会を与えるような、救済措置の1つだと思ってほしい。リベロは入れ替わりがあるため、誰が入った・出たといったことをユニフォームの色で区別しておかなければ分からず、そのようにルールが決まっている。

【太田会長】

他に質問はあるか。

【吉田 実副会長】

非常に苦勞されており、大変だと思っている。

自分は城北中学校に通っていたのだが、当時は男子バレー部があったため非常にラッキーだったと思う。逆に今の子どもたちは選択肢が狭められていると思っている。クラブ活動というか、部活になる前に活動を立ち上げることに、非常に苦勞されている保護者の話も聞いたことある。

今回の提案がもし減額採択となった場合、当然、保護者の負担となってしまうと思う。地域活動支援事業の補助金を利用することも1つの手段ではあるのだが、いつまでもある補助金ではないことを理解してほしい。そのため、企業等から寄付を受けるといった選択肢もあるように思うため、検討してほしい。

質問ではないのだが、そういったことも選択肢として考えてほしいと思う。

【春-12 提案者】

指摘に感謝する。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-12」を終了する。

— 春-12 提案者退室、春-13 提案者入室 —

【藤井係長】

・「春-13 高志地区・安全・安心見守りパトロール事業」について説明

【春-13 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【山田委員】

提案書に、事業の対象者が9町内と記載されている。実際にベスト等を着用して活動している人は、だいたい何人くらいいるのか。

【春-13 提案者】

町内によってばらつきはあるのだが、各町内会長に確認をしたところ、現在9町内会で約80人が活動している。

【山田委員】

例えば、週2回といったように、定期的に活動していく予定なのか。

【春-13 提案者】

藤新田町内会や大学前町内会の人ほぼ毎日、学校まで付き添っており、登校時の安全を見守ってくれている。だいたい4人から5人の人が交代で見守り活動をしている。その他、それぞれの交差点等に月ごとに、日を決めて立ってくれている町内もある。木田町内であれば、高志小学校の近くの踏切の東側交差点に、毎朝立っており、高志小学校入口のT字路のところにも、毎朝立哨してくれている人がいる。

【渡部委員】

自分は交通安全関係の役員を務めているのだが、パトロールとなると防犯だけではなく、必然的に交通の安全等もあるかと思う。

「春-13」ではのぼり旗を1年中設置しているようだが、以前の新潟日報に「安全にのぼり旗を設置してください」との記事が掲載されていた。交通安全協会にも上部より命令が来ているのだが、1年間放置すると相当消耗する。また少し前に見たテレビで標識が壊れて子どもにぶつかったとの報道も見た。そのため、のぼり旗の設置には十分に注意してほしい。これは意見等ではなく、アドバイスである。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-13」を終了する。

- ー 春-13 提案者退室 ー
- ー 休憩（10分） ー
- ー 春-14 提案者入室 ー

【藤井係長】

会議を再開する。

- ・「春-14 春日山周遊スタンプラリー事業」について説明

【春-14 提案者】

- ・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【吉田 実副会長】

質問ではないのだが、質問No.9に関連した内容である。

自分は20年ほど前に、謙信公祭の際にオリエンテーリングを1回だけ企画して行ったことがある。遠くからの参加者には北海道の女性もいた。何を言いたいかというと、観光振興の関係である。オリエンテーリングではポストを設けて、地図を参考に選手が駆け回る。それをチェックしてゴールする。そういったスポーツ的な要素も取り入れた何かがあってもよいかと思う。歴史等もあってよいと思う。上越市には「オリエンテーリング協会」というものがあり、春日山のオリエンテーリングのマップは確か廃版となってしまった。今後の参考にしてもらえればよいと思う。

【谷委員】

質問No.5に関連した質問である。

景品にある特産品とはどのようなものを考えているのか。

【春-14 提案者】

景品の特産物は、木や間伐材で作った工芸品を考えているのだが、まだはっきりとは決まっていない。補助金額が決まらなければ計画を作ることができないため、詳細については採択決定後の話になる。その他には、食品も考えている。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-14」を終了する。

ー 春-14 提案者退室、春-15 提案者入室 ー

【藤井係長】

・「春-15 春日山モルツ ミニバスケットボールクラブ事業」について説明

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

(発言なし)

【春-14 提案者】

補足である。

なぜ借り上げバスを利用しているのかということ、質問No.11 で回答している。あまり予算を持っていない他チームは、どうしても保護者の車を利用する、またはチームでマイクロバスを借り上げて行くケースが多々ある。過去にスポーツ少年団のサッカーチームが事故を起こしてしまったケースがあった。せっかく頑張っている、保護者等に責任が及んでしまっは困るため、当団体ではこのような対応をしている。

【太田会長】

質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-15」を終了する。

ー 春-15 提案者退室、春-16 提案者入室 ー

【藤井係長】

・「春-16 越後謙信きき酒マラソン the world 事業」について説明

【春-16 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

コロナ禍の影響により提案内容が変更となっている。事前にあげた質問とは多少内容が異なってくるため、新たな質問も出てくるかと思っている。その部分も含めて、再質問のある委員の発言を求める。

【田中副会長】

コースにより参加費が変わるとの説明があったのだが、ある程度予算的なことは言えると思う。オンラインマラソンを考えた時点で、各コースのだいたいの料金設定の見積は出せると思う。

前回、100人でオンラインマラソンを行った際、一般の参加者は75人であり、残りの25人は商工会議所の関係者であったと自分は解釈している。実は自分も参加しようと思っていたのだが、「締め切りました」となっていた。ある程度の各コースの試算が出なければ、補助希望額である70万円は算出できないと思う。試算はどのように考えているのか。

【春-16 提案者】

試算については、「VIP オンラインランナー」は昨年同様に5千円、一般参加者は2千円程度で考えている。

ただ正直なところ、まだ話が煮詰まらないところもある。VIP オンラインランナーを増やす、一般参加者の料金設定等、逆に試算を進めながら考えていきたいと思っている。

先ほど田中副会長の発言にあった、昨年度の参加者100人のうち25人が商工会議所青年部の人間というわけではなく、100人の応募は行った。今年度についても、募集予定の500人のうち25人が青年部という訳ではない。500人は500人として募集をしたいと思っている。

今のところの考えでいくと、「VIP」は5,000円、「一般」は2,000円と考えている。

【市川委員】

先ほどの説明に、町内会に連絡を取って話をするという話があった。当初の質問のNo.5に「春日地区の中でも町内によって温度差がある」とあり、これに対する回答として、「質問の意図は分からない」とある。

今回のオンラインマラソンには、金谷区の正善寺や滝寺もコースに含まれているのだが、それを春日区地域協議会の地域活動支援事業だけに提案することに疑問を感じている。例えば、自分は商工会議所の地元である新光町にいるのだが、新光町の住民で「きき酒マラソン」を知らない人が多くいる。そういった意味で、「地域に温度差がある」との質問をした。

コースとなっている町内会は、盛り上げるために一生懸命にやると思うのだが、新光町は離れているため「なんだそれは」という感じの住民もいると思う。春日地区には現在19町内あるのだが、各町内会にどのようにして周知徹底を図るのか、もう少し詳しく教えてほしい。

また、金谷区の滝寺、上正善寺、中正善寺、下正善寺等、全てコースに含まれてい

る。金谷区との兼ね合いについても分かる範囲で教えてほしい。

次に、「オンラインマラソン」というものを自分は年寄りのせい、いまいちピンとこない。このオンラインマラソンというものを、果たしてどれくらいの人が理解できるのか、せっかく計画を立てているのに申し訳ないのだが、もう少し詳しく教えてほしい。

【春-16 提案者】

最初に町内会への周知の方法についてである。

毎回、町内会長にお願いをして、内容を説明したうえでチラシを配布、または回覧板を回してもらっている。実はその時点で「うちの町内には来なくてもよい」といったことを言われることがある。「分かっているため大丈夫だ」と言われ、自分たちとしては町内会の集まり等で時間を作ってもらえれば説明をすると言うのだが、「分かっているからよい」と流されることもある。逆に地域の人から、「出向いてしっかりと説明してほしい」くらいのことを言ってもらえると、自分たちとしては非常にありがたいと思っている。もしも自分たちの周知の方法が悪く分からなければ、逆にどんどん町内等の集まりに呼んでほしいと思っている。

次にオンラインマラソンの内容についてである。実際に走ることができないため、インターネットを使用して、ランナーと当団体がオンライン会議をしながら走る、という仕組みである。そのため、5 時間携帯でお互いに会話をしながら走ることを「オンラインマラソン」と呼んでいる。この「オンラインマラソン」のやり方は、当団体が実施する大会だけのやり方であり、いわゆる普通のオンラインマラソンとは違うやり方となっている。

【春-16 提案者②】

1 番最初に質問のあった各町内会への周知について補足である。

これまで、走るルートとなっている町内会へは案内をしていたのだが、どこまでの町内が春日区なのか、正直、自分たちも把握していなかった。そのため今回は、春日区の全部のリストをもらい、全ての町内会長に案内して、問題がなければ当団体で周知を行いたいと思っている。地域協議会の事務局を通じて案内をしたほうがよいのであれば、事務局を通じて町内会長に案内をしたいと思っている。

また、オンラインでつながる雰囲気というものを、この場でインターネットを繋ぐことができるようであれば、ここで映像を流すこともできる。だが、映像はすでに公

開されているものである。自宅でインターネットができる環境であれば、オンラインマラソンの雰囲気はすぐにでも見るることができる。事務局を通じて配布等することになるかと思うのだが、映像を見ることができるサイトを案内したいと思う。

【吉田 義昭委員】

先ほど市川委員の発言にもあったように、オンラインマラソンのイメージがよく分からない。年を取っているため、説明についていくことができないことは反省しなければならないのだが、本日のプレゼンテーション内で分かりやすく、映像等で説明されることを期待して質問を投げたつもりであった。目で見るとは違い、説明を聞いてもなかなか頭に入らないため、理解することができない。

また、自分の町内や近所の町内の住民に聞いても、「オンラインマラソン」を行っていることが全然ピンときていないようである。先ほどの説明にあったが、町内会長に話をしても、しっかりと理解をして下に下ろすことができるかということ、今のプレゼンテーションを自分が聞いている限りでは、なかなか難しいと思う。説明にあったインターネットで見ることができるのであれば、ある程度は意味が掴めるかもしれない。皆に分かるようなプレゼンテーションをしてもらわなければ付いていくことは難しいように思う。説明を聞いていると、非常によい話だと思うのだが、ついていくことができない。そこを配慮願う。

【春-16 提案者②】

映像が5時間あるため、正直この場で流すことが難しい。もしも興味を持ってもらえるのであれば、ぜひ映像を見てほしいと思う。

【渡部委員】

自分も全く同じ感覚である。

申し訳ないのだが、地域協議会委員が事業を理解して、採択を決めるわけである。正直言って、昨年度も気が付いたら事業が終わっており、いつ行われたのかも分からないような感じであった。

実際のオンラインマラソンは5時間かかるのだが、映像を短縮して、少しでも雰囲気が分かるとよい。

また今回、プレゼンテーションの直前で提案書の差替えが来た。プレゼンテーションの間、差替えとなった提案書を読んでいたため、パワーポイントでの説明もよく分からないくらいであった。余り直前で提案書を差替えられても、しっかりと読んで勉

強することができない。そういった意味でも、映像を5分程度にまとめて年寄りにも理解できるようにしてもらえると本当にありがたい。

事業内容はよさそうな感じがしている。

【春-16 提案者②】

今回の質問の回答にも記載したのだが、昨年10月に「ぽかぽか春日」という団体にイベントのプレゼンテーションを行ったのだが、説明に1時間ほどかかってしまった。自分たちもプロではないため、正直5時間の映像を5分程度に短縮することはなかなか難しい。ただ、採択決定前に説明する機会を設けさせてもらえるのであれば、30分から1時間程度で説明ができればとよいと思った。

【渡部委員】

映像を5分程度にまとめることはできないのか。

【春-16 提案者②】

自分たちは映像のプロではない。一般企業等に勤める人や商工会議所の職員であるため、申し訳ないのだが映像を短縮することは難しい。

【藤田委員】

自分は昨年行われた「ぽかぽか春日」でのプレゼンテーションに参加し、知らない世界を見せていただいた。普通のマラソンと、提案団体が行っているオンラインマラソンとの違いを説明してもらい、映像も見た。酒を飲むのだが、ただ飲酒をして走るわけではないことや、早く走ればよいというマラソンではないことを、非常に丁寧に教えていただき、好印象であったため実際にイベントを見に行ってきた。春日山に登って見たのだが、仮装等をしており、何とも言えず、若者らしく・楽しそうでよいと思った。

だが正直な話、本日の説明を聞く限りでは何だかもったいないように感じた。せっかくプレゼンテーションで発言できる機会があるため、映像を簡単に見せてもらえると、皆に分かってもらえるような気がする。ただ口頭で簡単に説明をされても理解はできないと思う。

自分もオンラインと言われると、若い人のものという感じになってしまうのだが、参加してみると分かることもあると思う。本当にもったいないと感じる、5分間のプレゼンテーションであった。

【谷委員】

一昨年、岩木町内を車で走行していた際、仮装したランナーがたくさんいた。交差点にも道案内の人がいたため何かと思い、岩木の町内会館の近くでずっと眺めていた。次から次にいろいろなランナーが通過して行き、カメラを向けるとポーズも取ってくれる参加者もあり、素晴らしいものを見せてもらったと思った。

去年はオンライン開催ということで、どのようなことを行うのかと思い見に行った。見ていると走っているランナーが携帯を持ち、誰かと話しながら、景色もきょろきょろと見ながら、楽しそうに走っていた。今年度も開催するのであれば、そういった姿をまずは見てもらい、関心持ってもらえるようPRをして、見てもらえるような呼びかけも有効かと思う。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-16」を終了する。

ー 春-16 提案者退室、春-17 提案者入室 ー

【藤井係長】

・「春-17 春日野デュークス幼年野球育成事業」について説明

【春-17 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

(発言なし)

質問がないようであるため、以上で「春-17」を終了する。

ー 春-17 提案者退室、春-18 提案者入室 ー

【藤井係長】

・「春-18 春日野少年野球育成事業」について説明

【春-18 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

春日中学校の野球部の部員も参加しているのか。

【春-18 提案者】

参加している。

【渡部委員】

これは自分の興味本位の話になるのだが、春日中学校後援会が 100 万円程度の楽器購入の提案をしてきている。また、「春-18」の提案団体は昨年度ピッチングマシンの購入を提案して不採択となっているためか、今回の補助希望額は少額となっている。何を言いたいかという、中学校の後援会等で部活の人たちを含めて、うまく・広く行えないものかと考えている。中学校の部活動とは一緒には活動等、行ってはいないのか。

【春-18 提案者】

基本的に今は、中学校の部活動に練習制限がある。昔であれば、平日の夜・土日と全部が練習であった。だが現在は、「休養日を設ける」とされているため、春日中学校では休日は土曜日しか練習ができない。そのため、日曜日は家でゲームをしている中学生が多いようである。そこを利用して練習をしたいということが 1 つの理由である。

また、中学生の半分は高志小学校の卒業生である。高志小学校区の子どもたちは高志小学校の卒業生で、Jカップに向けて活動している。そして春日小学校区の子どもたちは「春日野少年野球」として Jカップに参加する。このように別々に活動をしているため、中学校の備品等を「春日野少年野球にだけ貸してほしい」とはいかない。それでも去年は中学校よりキャッチャー道具を借りたのだが、やはりよくないと思った。そのため、Jカップに向けて一生懸命に練習をするために、昨年度、道具等を全て揃えたいと思ったため、高額な申請となってしまった。だが不採択となってしまったため、自分も反省をした。確かに、Jカップのためだけに、昨年のような高額な申請はないと反省した。そのため、最小限の金額を補助してほしいと思い、今回の申請をした。

【山田委員】

関係ないかと思うのだが、春日野デュークスは年間の部費が 15,000 円となっているが、「春-18」は年間で 1 人 3,500 円である。差がありすぎるように思うのだが、どうか。

【春-18 提案者】

部費については、活動の大きさを反映している。春日野デュークスは年間を通して練習しており、試合についても、練習試合を入れて 60 試合から 70 試合程度をこなしている。だが中学校については、目標が J カップだけであるため、なかなかこれ以上の部費を徴収することが厳しいことが現実である。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-18」を終了する。

－ 春-18 提案者退室、春-5 提案者入室 － (「春-19」のプレゼンテーションは次回)

【藤井係長】

- ・「春-5 安全に安心して暮らせるまちづくり事業 (防犯パトロール実施事業)」について説明

【春-5 提案者】

- ・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

他の提案団体にも話をしたのだが、以前の新潟日報の新聞記事に、のぼり旗が乱雑に設置してありケガをしたといった記事が掲載されていた。そして 10 日程前に、横断歩道前の交通標識が壊れて女子中学生が頭にケガをしたこともあった。

質問No.9 に関連した内容である。これは質問ではなくお願いである。

自分は交通安全関係の役員を務めているのだが、上部団体より「のぼり旗の設置場所を徹底してほしい」との通達が来ている。春日山町 1 丁目・2 丁目・3 丁目には多くののぼり旗が設置されているため、防犯パトロールも本当に大事ではあるのだが、のぼり旗のパトロールも実施してはどうか。

【春-5 提案者】

春日山町 3 丁目の例でいうと、道路脇にのぼり旗を設置している箇所があり、風が非常に強い。そういった箇所には役員を中心として、常に巡回をしている。通り道でもあるため、常に見回って情報交換をしながら倒れないように気を付けているところである。

余談ではあるのだが、旗や竿を地域活動支援事業で購入することができているため、これまでは柱に縛り付けていたのだが、これでは動かさずにかえって旗をだめにしてしまうため、質問No.6 の回答にも記載したのだが、旗が自由に回り長持ちするように、自費で塩ビ管を購入し対策したところである。

旗については、1年使用するとほとんどがだめになってしまう。

渡部委員の発言にもあったように、見回りをしながら対応しているところである。

【吉田 義昭委員】

質問No.6 に関連した質問である。

旗と竿については、自費で塩ビ管を購入して遊びをつくれるような工夫をし、寿命を延ばせる努力をしている。旗は平均すると1枚800円から900円であるが、「春-5」は1枚が1,450円であり、普通の旗に比べると丈夫なものの購入を希望している。

春日山町で設置しているのぼり旗は、どのくらいもつのか。丈夫なのぼり旗を使用することで、1枚800円の旗を1年で交換すると2年で1,600円だが、1枚1,450円の旗を使うことで強度的に長く使用できるのであれば購入する量も減ると思うのだが、寿命を教えてほしい。

【春-5 提案者】

ほとんどが1年でだめになってしまう。

やはり風が強いため破れてしまう、あとは日射で色が褪せてしまうためである。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-5」を終了する。

— 春-5 提案者退室、春-20 提案者入室 —

【藤井係長】

・「春-20 春日山城跡環境整備（桑取道等整備他）事業」について説明

【春-20 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【山田委員】

質問No.9に関連した質問である。

金谷地区・谷浜地区の活動団体と情報交換をしているとのことだが、これらの地区には当然、地域協議会があると思う。春日区以外の地域協議会には同様の提案申請をしているのか。

【春-20 提案者】

そこまでは聞いていない。

実は古道に対する考え方の違いの中で、自分たちは「史跡春日山城跡」との見方をしている。金谷地区と谷浜地区の2つの地域については、もともとは生活の場、いわゆる集落にもともとあった生活にかかった道であったため、自分たちとは切り口が違うことが1つある。そのため、地域を挙げて行っているとの中身ではあったのだが、多少、自分たちとは話が異なると思った。

次に、他の2区の地域活動支援事業にどう関わっているのかについては、確認はしていない。ただ、谷浜地区については「地域づくり協議会」という団体があり、活動内容から見ると多分、提案をしているのではないかと考えてはいるのだが、確認はしていない。

【渡部委員】

他の申請事業にはコロナ対策を聞いているのだが、「春-20」についてはクマ対策について確認したい。

道を整備してもクマが出そうな場所である。注意喚起の看板を取り付けたからといってクマに襲われないということではないのだが、地域活動支援事業として補助するからには、採択して整備した道路でクマの被害があっても困る。クマ対策についてどのように考えているのか教えてほしい。

【春-20 提案者】

昨年もコースを歩いていた人がクマに出くわしたとの事案が2件ほどあった。そのため行政にお願いをしたところ、すぐに文化行政課が具体的な提案と「クマ出没注意」と記載された看板設置の対応してくれた。

そのためクマ対策については、実際に工事を進めながら、行政とタイアップ・連携ができる課題だと思っている。

【谷委員】

質問No.6に関連した質問である。

「春日山城跡保存管理計画書」があるとのことだが、この整備計画は今後も続くと思うため、計画書を公表してほしい。公表することは可能か。

【春-20 提案者】

本日、持参している。

立派な冊子となっており、行政が進める方法と地域がどのように関わるのかということが示されている。その計画の中で自分たちは活動するわけである。

自分はこの計画書を市の文化行政課より入手したのだが、おそらくは一般に出回る品物だと思う。ただ、どのようなルート・冊数といった詳細は把握していない。

【吉田 義昭委員】

いつ頃、作られたものなのか。

【春-20 提案者】

10年前の平成21年である。

【山田委員】

質問No.9に関連した内容である。

できることであれば定期的に、金谷地区や谷浜地区でもよいのだが、散策会のようなものを計画してほしい。これは希望である。

【春-20 提案者】

話すと長いのだが、非常にいろいろな人が古道に散策に来る。女性も多く見られるのだが、問題となるのがトイレである。他地区では軽トラックで移動用の仮設トイレを持ち運んで対応していると話を聞いたため、簡単に「やります」とは言えない話だと思った。

だが、検討はしたいと思う。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-20」を終了する。

— 春-20 提案者退室、春-21 提案者入室 —

【藤井係長】

・「春-21 謙信流陣太鼓活動支援事業」について説明

【春-21 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【鷺澤委員】

質問No.6 番に関連した質問である。

謙信流陣太鼓については全市的な宝だと思う。そのため全体で大切にし、必要であれば全市的に関係者が資金を出し合って活動していく必要があると考えている。そうすることによって、今後、経年劣化のために修理等する必要があった場合でも、大いに役立ち、また市民のためにも発展していく1つの材料になっていくと思う。

このような意味合いで質問を出したのだが、意味合いの違う回答が返ってきてしまった。改めて回答願う。

【春-21 提案者】

当初は謙信公祭のために作成しようと思った太鼓であった。当時、自分は消防団に入っていたのだが、できることであれば春日地区全体で活動をしたく何人かに声掛けをした。だがあまり賛同してもらうことができずに、岩木の消防団員で活動を始めた。現在は他からの参加者もいる。景気のよい時は演奏の依頼も多かったのだが、現在は縮小しているイベントも多く、出演料等が入ってくるような目途が立っていない状態である。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-21」を終了する。

－ 春-21 提案者退室、春-22 提案者入室 －

【藤井係長】

・「春-22 『地域の宝』紹介・整備活動事業」について説明

【春-22 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

質問No.7に関連した内容である。

記載されている質問の回答に誤り等はないと思うのだが、今後のために教えてほしい。上越市が「地域の宝」に認定したわけだが、補修費用等は全く出ないのか。

【春-22 提案者】

全くない。

【渡部委員】

ただ名誉だけもらったということなのか。

【春-22 提案者】

そうである。財政的支援はないことが前提である。その代わりに何があるのかというと、今後のPRの中でも説明したように、例えば、市のホームページやツイッター等に掲載する際に便宜を図ってもらえると市の担当課を通じて聞いている。

【渡部委員】

認定書のようなものはあるのか。

【春-22 提案者】

認定書はある。

【渡部委員】

自分は近くに住んでいながら全く知らなかった。こういった事業は継続して行わなければ、草等も生えてくるため大変だと思う。最近、岩木は3つの町内に分町したためたいへんだと思うのだが、ぜひ頑張っていたきたいと思う。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-22」を終了する。

ー 春-22 提案者退室、春-23 提案者入室 ー

【藤井係長】

・「春-23 大学南町内会行事支援事業」について説明

【春-23 提案者】

・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

最近の風潮により、青年部を作ることはたいへんだと思う。そういう意味で敬意を表す。

どの質問に関連するのか分からないのだが、ユニフォームとしてTシャツの作成を希望している。意見ということではないのだが、ベストであればいろいろな時に着用することができる。ユニフォームでTシャツというと、綱引き大会で選手が着るような雰囲気がある。説明を聞いていると「町内の青年部としての意識付け」のように感じるため、個人的にベストであればどのような時でも着用できるためよいと思った。そういったことは考えていなかったのか。

【春-23 提案者】

貴重な意見に感謝する。

確かに、着るものにもいろいろな種類があると思う。その中で、一番手っ取り早く意識付けできるものとして、夏の活動を主に考えていた。そのため、夏に皆で名前が入ったTシャツがよいと思い、今回の提案をした。今後、発展していけば、また別のものも必要かと考えている。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-23」を終了する。

— 春-23 提案者退室、春-24 提案者入室 —

【渡部委員】

- ・「春-24 春日地区 地域子育て支え合い事業」について説明

【春-24 提案者】

- ・プレゼンテーション

【太田会長】

再質問のある委員の発言を求める。

【市川委員】

質問No.9に関連した質問である。

回答に「有田地区の子育てサークルの代表もしている」との記載があるのだが、有田地区では提案は出していないのか。

【春-24 提案者】

有田地区の「よちよちの会」は活動内容が全く違うため、提案はしていない。

【市川委員】

有田地区と春日地区で活動しているのであれば、今後、また他の地区でも活動をするという可能性がないとはいえない。複数の地区で活動することはよいとは思っているのだが、なぜ今回、春日地区で提案をしようと思ったのか教えてほしい。

【春-24 提案者】

実際に有田地区で活動した際、参加者は春日地区と直江津地区に住んでいる母親が多かった。そのため、今回は春日地区を選んで開催をした。また、有田地区には行きづらいとの声も実際にあった。今後は直江津地区でも活動したいと考えてはいるのだが、今回は春日地区を選んで活動している。

【渡部委員】

質問No.10に関連した質問である。

「行政との関係はない」と回答しているのだが、自分はこのようなことは不得意な分野である。そのため、説明や提案書を見ていると素晴らしいと思うのだが、本当に行政からの支援等はないのか。

【春-24 提案者】

支援はない。

【渡部委員】

社会福祉協議会等からの支援もないのか。

【春-24 提案者】

支援はない。

【田中副会長】

質問にあるものではないのだが、個人の参加費「400円」が妥当な金額なのか分からないのだが、どのような考えで「400円」としたのか教えてほしい。

【春-24 提案者】

施設使用料が掛かってくると、新型コロナウイルスの影響により定員を決めていることもあり、計算上で400円との金額となった。

【太田会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「春-24」を終了する。

－ 春-24 提案者退室 －

本日予定していた提案事業のプレゼンテーションがすべて終了した。

以上で次第3 議題「(1) 協議事項」の「① 地域活動支援事業の審査に係るプレゼンテーション①」の「2) プレゼンテーション」を終了する。

次に次第3 議題の「(2) その他」である。本日の議題について、何かあるか。

(発言なし)

以上で次に次第3 議題「(2) その他」を終了する。

次に次第4 「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・ 次回の協議会について説明
- ・ 次回の地域協議会：6月1日（火）午後6時30分から 市民プラザ 第2会議室
- ・ 内容：プレゼンテーション②、意見交換

【太田会長】

次回の協議会では、意見交換の時間を設けたいと思っている。また、都合が悪く地域協議会に出席できない委員で、意見交換にて何か伝えたいことなどがある委員は、事務局にメールや電話にて連絡してほしいと思う。

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。